

ミクロン精密 株式会社

平成18年11月期 決算説明資料

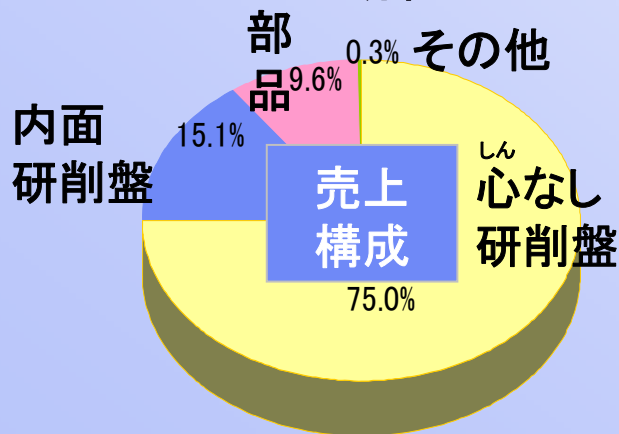
本資料は投資を勧誘、推奨するものではありません。この情報に基づいての投資判断は、個人の責任において行ってください。

会社概要

- ◇社名: ミクロン精密株式会社
- ◇設立: 1961年10月
- ◇本社所在地: 山形県山形市蔵王上野578-2
- ◇代表者: 代表取締役会長 榊原 忠雄

- 代表取締役社長 白田 啓
- ◇事業内容: ^{しん}心なし研削盤(センタレスグラインダ)及び内面研削盤(インターナルグラインダ)と、その周辺装置の製造、販売

- ◇業績(連結) 47期
【平成18年11月期】
- 売上高: 5,903百万円
- 経常利益: 1,042百万円
- 当期純利益: 609百万円



柄久磨研技 【技術と人柄】

ものづくりはひとづくり、
そして感動のステージへ



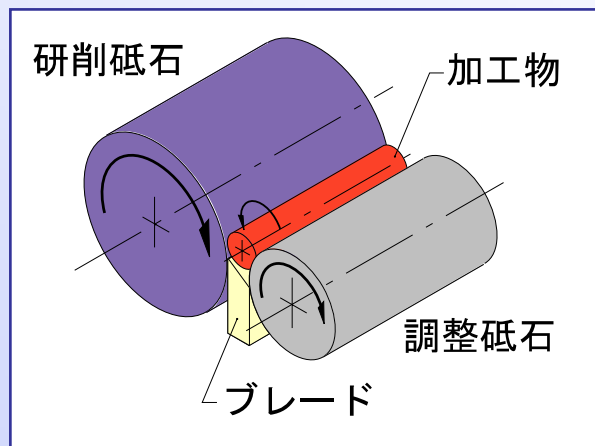
当社の歴史

2000	● 2006/12 中部サテライト落成(名古屋営業所移転)	■ 2008 生産6000台到達見込
	● 2005/09 EMO(欧州国際工作機械見本市)に初出展	
	● 2003/07 ドイツにMicron Europe GmbHを設立	
	● 2000/03 内面研削盤開発	■ 2001 生産5000台到達
1990	● 1998/04 ハイテクノロジーセンター落成 (ナノオーダーの加工精度を目指す)	■ 1994 生産4000台到達
	● 1989/02 米国 CATERPILLAR 社に初納入	■ 1988 生産3000台到達
1980	● 1988/06 米国にMICRON-U.S.A., INC. を設立	
	● 1987/06 米国 AUTOCAM 社に初納入	
	● 1980/08 日本電装株式会社(現:株式会社デンソー)に初納入	■ 1980 生産2000台到達
	● 1978/01 トヨタ自動車工業株式会社(現:トヨタ自動車株式会社)に初納入	
1970		■ 1969 生産1000台到達
	● 1968/05 社名をミクロン精密株式会社に変更	
	● 1963/04 株式会社不二越 に初納入	
1960	● 1961/10 中川精機製造株式会社として発足	
	● 1958/09 中川精機株式会社山形工場として創業	

製品紹介

●心なし研削盤

丸棒やリング形状の素材に種々の加工を施す工作機械



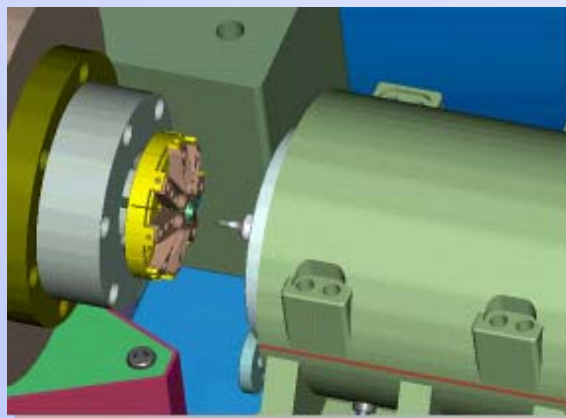
心なし研削



円筒研削

●内面研削盤

円筒及びリング形状の加工物の内周面に種々の加工を施す工作機械

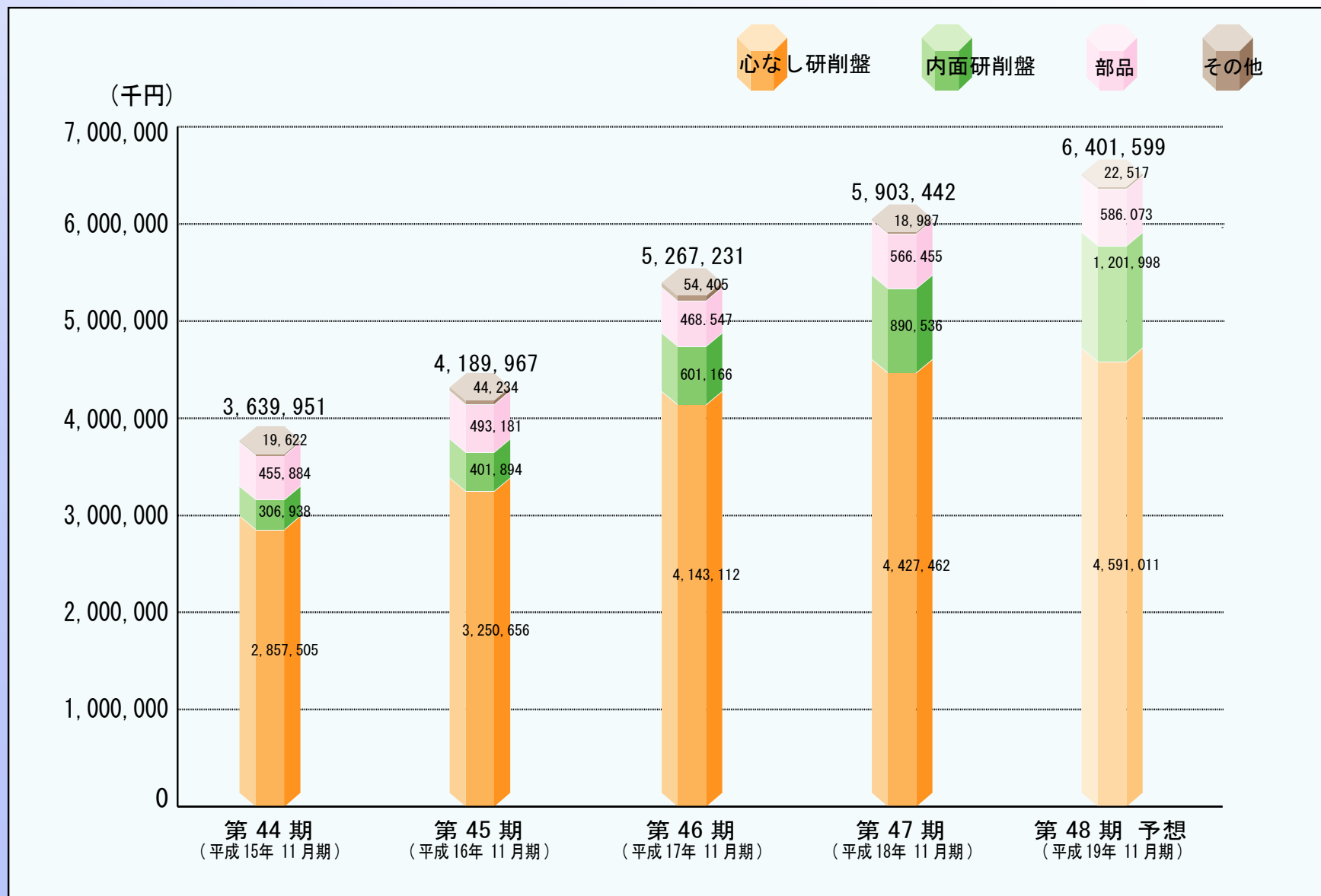


当社の製品で研削される加工事例

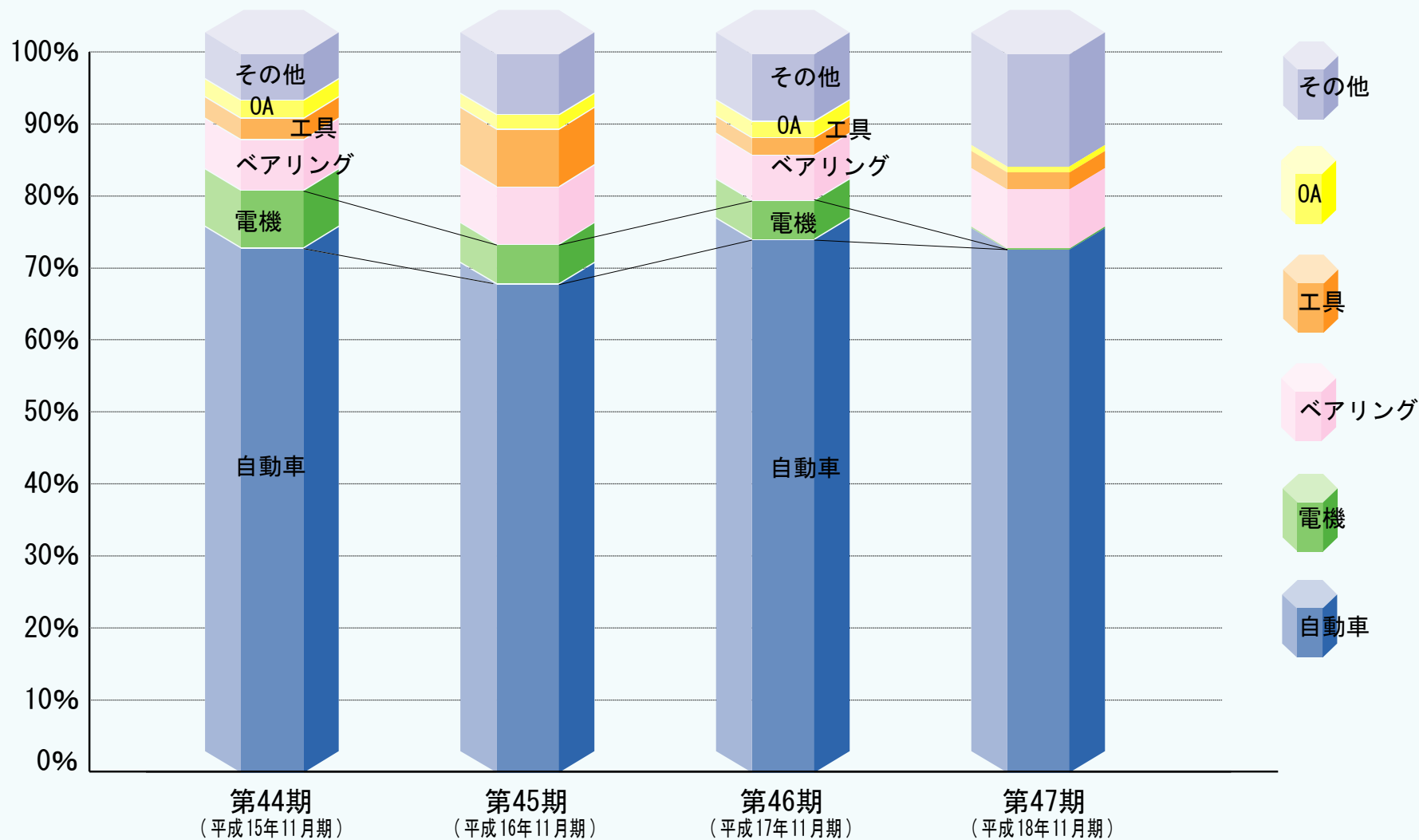


売上高の推移

(単位: 千円)



業種別売上比率の推移



平成18年11月期実績 損益計算書(連結)

(百万円)

	平成17年11月期 実績		平成18年11月期 実績		前期 からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	5,267	100.0%	5,903	100.0 %	+12.1%
売上総利益	1,558	29.6%	1,929	32.7%	+23.8%
販売費及び一般管理費	955	18.2%	964	16.3%	+1.0%
営業利益	602	11.4%	964	16.4%	+60.2%
経常利益	801	15.2%	1,042	17.7%	+30.1%
当期純利益	451	8.6%	609	10.3%	+35.2%

売上高につきましては、心なし研削盤に加え内面研削盤の売上が貢献した事により、前期を上回っております。売上総利益につきましては、得意技術を搭載した製品売上による利益率の上昇に加え、販売費及び一般管理費が、見本市の出展費用の発生等があるものの、微増であったことにより、営業利益の上昇に貢献致しました。また、受取利息の増加もあったため、経常利益、当期純利益とも前期を上回りました。

平成18年11月期実績 品目別売上高(連結)

(百万円)

	平成17年11月期 実績		平成18年11月期 実績		前期からの 伸び率
	売上高	百分比	売上高	百分比	
心なし研削盤	4,143	78.7 %	4,427	75.0 %	+6.9%
内面研削盤	601	11.4 %	890	15.1 %	+48.1%
部品	468	8.9 %	566	9.6 %	+20.9%
その他	54	1.0 %	18	0.3 %	-65.1%
合計	5,267	100.0 %	5,903	100.0 %	+12.1%

心なし研削盤に加え内面研削盤が前期を上回った背景は、国内自動車部品メーカーへの売上増によるものであります。部品売上につきましては、主にアジア地区の日系ユーザーからの改良工事等が増加したことにより前期を上回っております。

平成19年11月期業績予想 損益計算書(連結)

(百万円)

	平成18年11月期実績			平成19年11月期予想		
		百分比	前期からの 伸び率		百分比	前期からの 伸び率
売上高	5,903	100.0 %	+12.1%	6,401	100.0 %	+8.4%
売上総利益	1,929	32.7 %	+23.8%	1,964	30.7 %	+1.8%
販売費及び一般管理費	964	16.3 %	+1.0%	929	14.5 %	-3.7%
営業利益	964	16.4 %	+60.2%	1,035	16.2 %	+7.3%
経常利益	1,042	17.7 %	+30.1%	1,193	18.6 %	+14.5%
当期純利益	609	10.3 %	+35.2%	703	11.0 %	+15.3%

売上高につきましては、主需要先である自動車関連業界の、優れた燃費効率による競争力の優位性を標榜した設備投資が今後も見込まれることや、他業界においても、地球規模での環境問題に対応するさまざまな需要が見込まれることから、対前期比8.4%増の64億1百万円となる見込みであります。経常利益につきましては、受取利息の増加が見込まれることから、対前期比14.5%増の11億9千3百万円となる見込みであります。当期純利益につきましては、このような状況から対前期比15.3%増の7億3百万円となる見込みであります。

平成19年11月期業績予想 品目別売上高(連結)

(百万円)

	平成18年11月期実績			平成19年11月期予想		
	売上高	百分比	前期からの伸び率	売上高	百分比	前期からの伸び率
心なし研削盤	4,427	75.0 %	+6.9%	4,591	71.7 %	+3.7%
内面研削盤	890	15.1 %	+48.1%	1,201	18.8 %	+35.0%
部品	566	9.6 %	+20.9%	586	9.2 %	+3.5%
その他	18	0.3 %	-65.1%	22	0.3 %	+18.6%
合計	5,903	100.0 %	+12.1%	6,401	100.0 %	+8.4%

内面研削盤につきましては、新機種の投入も含め、主需要先である国内自動車部品メーカーの、ディーゼル用部品加工の需要増の見込みから、引き続き高い伸び率を見込んでおります。心なし研削盤につきましては、建機やベアリング業界向けの売上に加え、新市場の開拓も加え、微増と見込んでおります。部品、その他の売上については、増加基調と見込んでおります。

今後の経営戦略

1. 新機種の開発
2. 地球規模での環境問題への貢献
3. グローバル展開
4. 営業拠点の強化
5. 生産能力の向上

1. 新機種開発

心なし研削盤



MPC-300

省力化・自動化・高精度化を目標とするMD-12DCの後継機種。小さな研削加工部品に対応可能なコンパクトな機械。小形の自動車部品のみならず、金型や電気製品の部品などの各種部品加工において力を発揮する。



MPC-600 II

1本の素材丸棒から加工物を切断し多数個取りする、従来のマルチフォーム研削盤に、更に高精度・高剛性・高能率を重視し、新たに開発設計した高能率重研削加工機。1回の加工で得られる加工物数を従来よりも増やすことが可能となり、より高い生産性を実現。



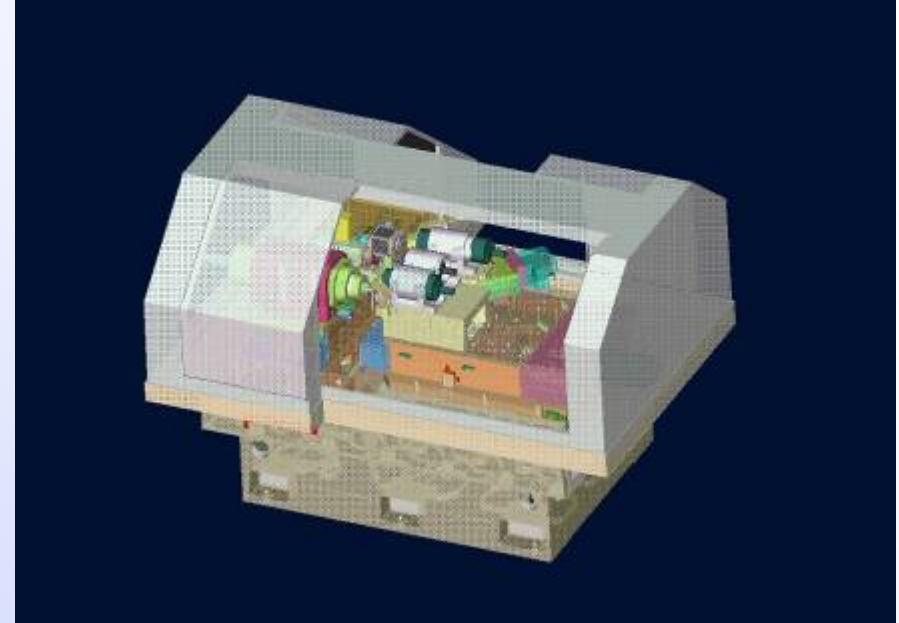
1. 新機種開発

内面研削盤



MIG-R10P

外径基準に内面を高精度・高能率に加工するセンタレス方式内面研削盤。外周を2つのロールで回転駆動させながらシューでサポートし、内面を高精度に加工。ワークの着脱を短時間でい非研削時間の大幅短縮可能。



MIG-101WS2G

1つのチャックで多工程を加工できる内面研削盤。チャックが1つであることから、高精度の研削加工が可能。少ロット多品種生産に対応可能。

2. 地球規模での環境問題への貢献

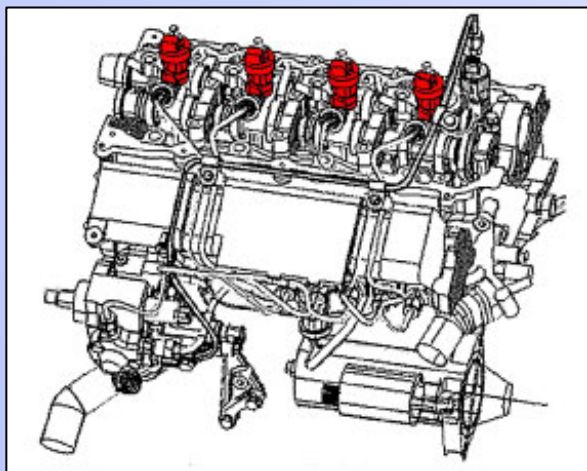
ミクロン精密の技術と役割 → クリーンエネルギーへの貢献

回転部品の真円を追求
⇒エネルギーロスを軽減



<http://www.yannarthusbertrand.com/yann2/affichage.php?pais=Danemark>

排ガス規制への貢献



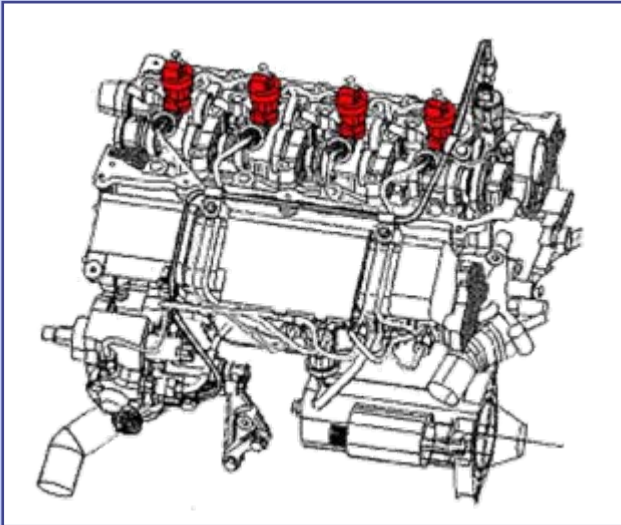
ディーゼルエンジン

国内をはじめ、北欧等で実施している風力発電に
使われるベアリングの精度向上。

各自動車メーカーが鎊を削るディーゼルエンジンの開発。
エンジン内部のさまざまな部品を高精度に加工する機械
の開発で貢献。

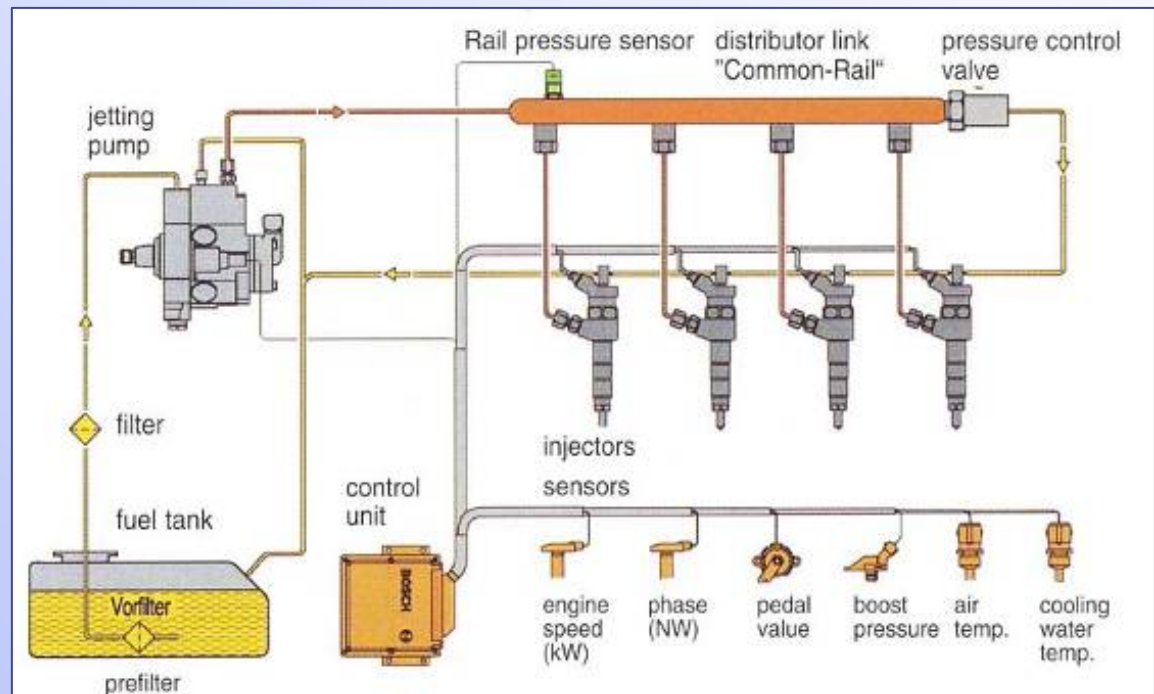
2. クリーンディーゼルエンジンへの貢献

高圧で燃料を噴射する低燃費でクリーンな最新のディーゼルエンジン燃料噴射バルブ。その主要部品であるノズルニードルは心なし研削盤で、ノズルボディーは内面研削盤で加工されています。当社は、国内のこの分野の加工機では圧倒的シェアを有しています。その他、サプライポンプなどディーゼルエンジン内の様々な部品についても当社の機械で加工されています。



ディーゼルエンジン

コモンレールシステム



3. グローバル展開

世界三極体制でワールドワイドにフォロー



オーストラリア、オーストリア、ブルガリア、
ブラジル、カナダ、スイス、中国、チェコ、
スペイン、フランス、ハンガリー、インド、インドネ
シア、イラン、韓国、メキシコ、マレーシア、
フィリピン、ポーランド、シンガポール、
ルーマニア、ロシア、タイ、トルコ、香港、
台湾、アメリカ、ベトナム（全28ヶ国）

3. グローバル展開

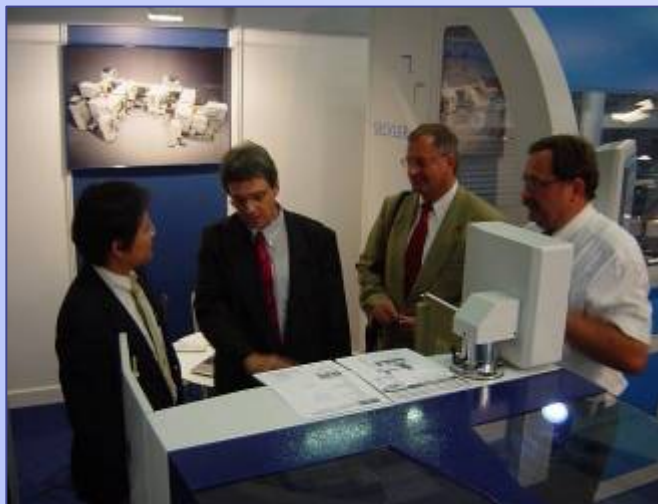
～世界3大工作機械見本市に最新鋭機を出展

・米国のIMTS (国際製造技術展)

- ・出展企業80ヶ国、1200社以上。入場者数9万人、北米最大規模。
- ・最新鋭機2台を出展。中でも、新機種MPC-300は多くの注目を集めた。



・ドイツのAMB (国際金属加工見本市)



- ・出展企業20ヶ国、約900社。入場者数5万人。当社子会社Micron Europeがあるシュトゥットガルトで開催。ダイムラークライスラー、ロバートボッシュ社がある地での、ビジネスチャンス拡大に向けた密度の濃い見本市。
- ・コンパクトな新機種MPC-150HPを展示。

3. グローバル展開

・日本のJIMTOF (日本国際工作機械見本市)

- ・出展企業785社、入場者数15万人、アジア最大規模の見本市。
- ・最新鋭機3台を出展。日本、アジアのみならず世界各国からの幅広い業種のお客様に最新技術を紹介。



新機種開発: MPC-600 II



3. AAM “Supplier of the Year” 受賞



2006年6月、American Axle & Manufacturing (AAM)より
“Supplier of the Year” を
受賞

AAM・・・アメリカの大手自動車部品メーカー
(車軸関係の部品で北米37%、全世界13%の
シェアを持つ企業)

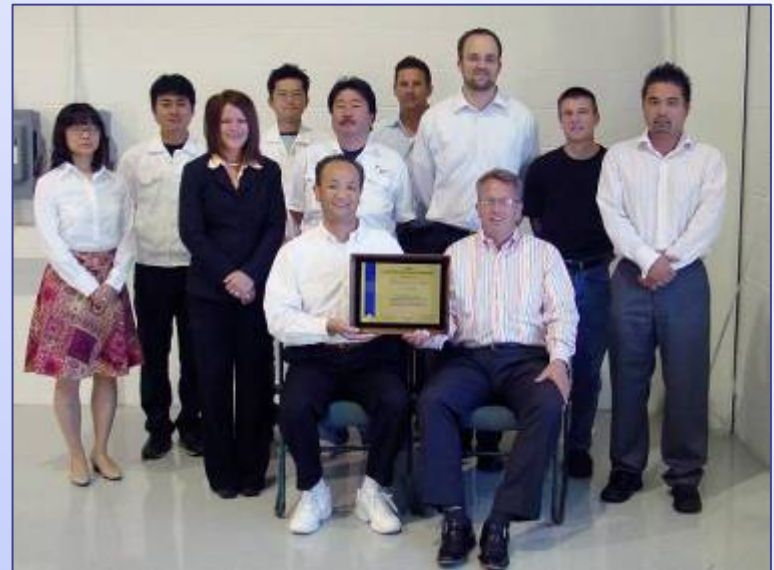
今回受賞した製品は、

当初は他社が受注していたものの、
技術的問題によりキャンセルが発生



弊社が解決策を提案し、受注が確定
更に
厳しい要求の納期を守って納入した

という経緯が評価された。



4. 営業拠点の強化～中部サテライト完成～



より良いモノづくり・研削加工に対する情報の提案ができる環境が整い、今春には展示機を設置予定。情報の受発信機能を十分に発揮する見通し。

2006年12月24日

情報の受発信施設

「中部サテライト」竣工

名古屋営業所移転

場所：愛知県愛知郡長久手町

1階・・・ショールーム

小型の 心なし研削盤と内面研削盤を展示予定

2階・・・名古屋営業所
事務所と会議室等を設置

5. 生産能力の向上～小型研削盤組立工場を増築

2007年夏～秋 新工場完成予定

新工場の組立予定台数:13コマ、土地の面積:900㎡



5. 静かな環境が精度を育む～蔵王に根ざし生産する

・粘り強いと言われる県民性を活かした技術の伝承

キサゲ作業



砥石軸ユニットの組付け作業



・経済産業省から感謝状を拝受

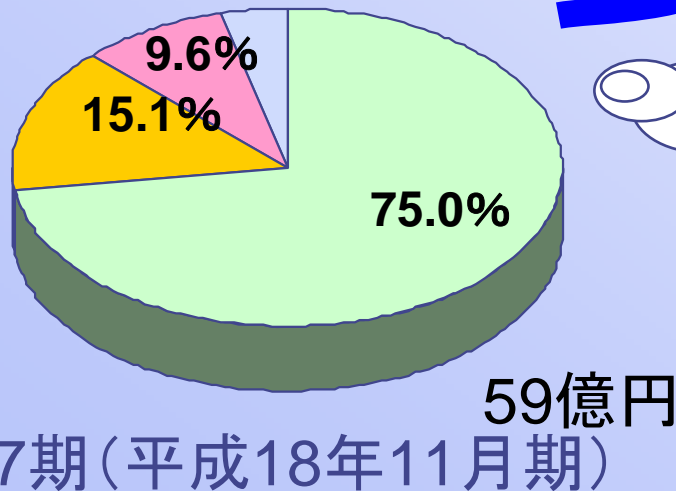
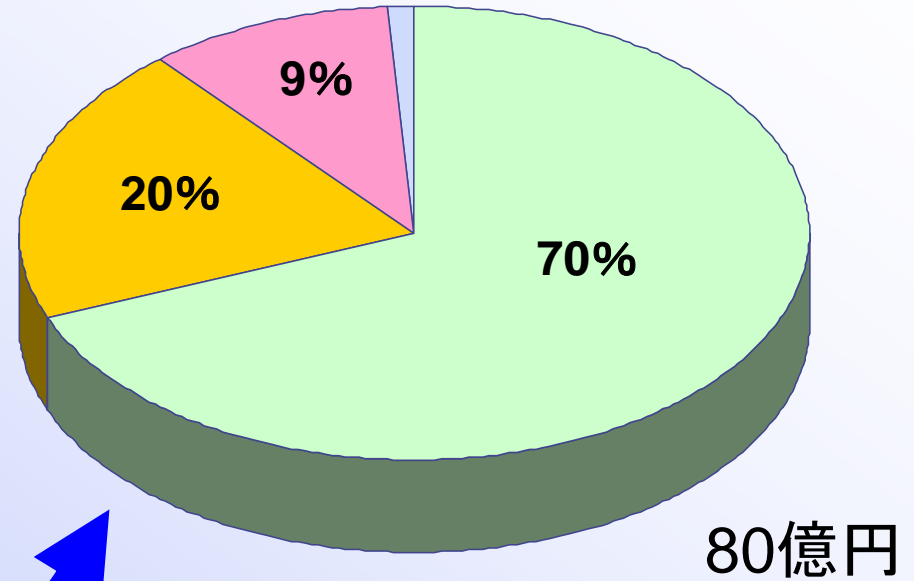
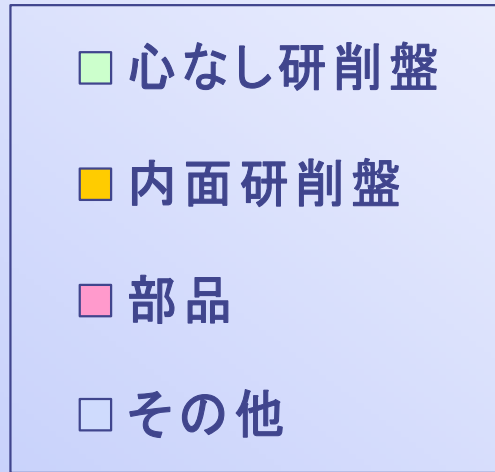
2006年5月、経済産業省より
「明日の日本を支える元気なモノ作り
中小企業300社」

を受賞

「一般の目に触れにくいが、重要な役割を果たしているモノ作り企業の姿を、国民に対して具体的に示す」ことを目的とした賞
東北からは22社、山形県からは7社が受賞



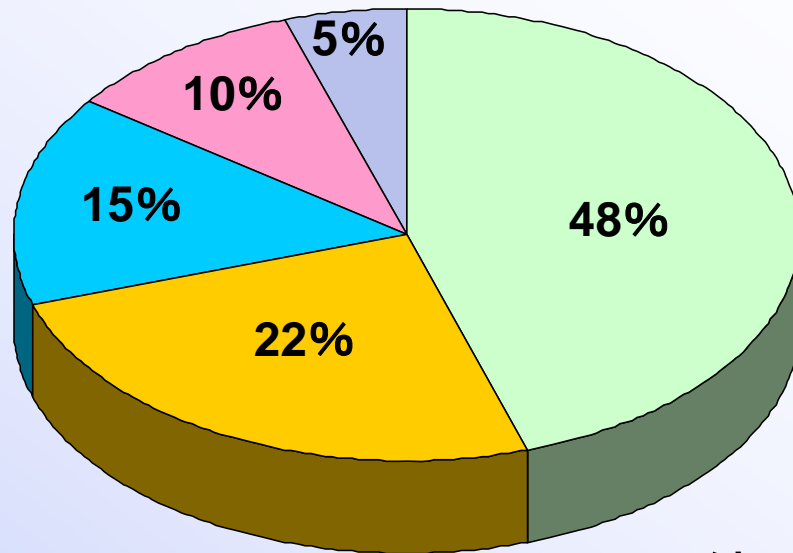
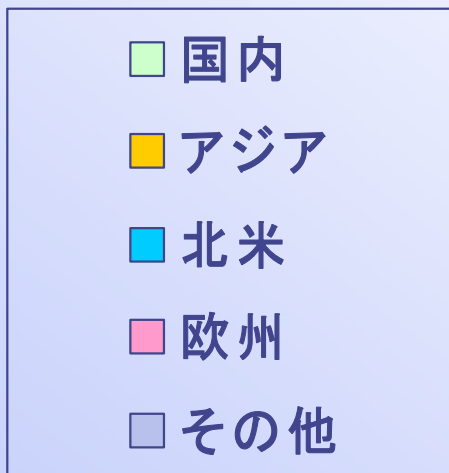
品目分類別売上比率目標 2010年



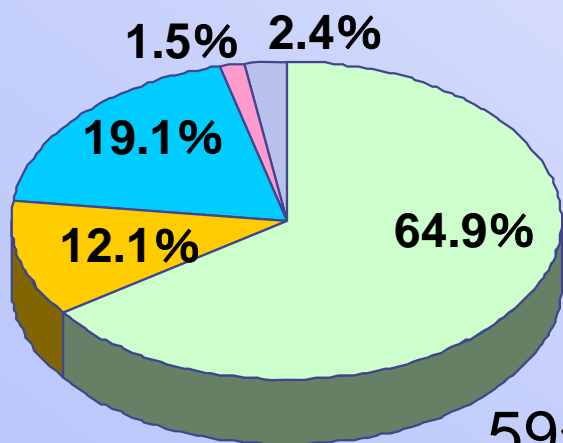
具体的プラン

- ・新分野への販売展開
- ・新工場増築
- ・新規外注先の開拓
- ・ユニット組立の導入
- ・社内製造工程における効率アップ

地域別売上比率目標 2010年

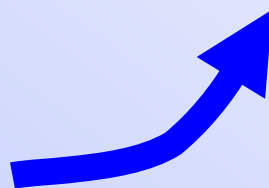


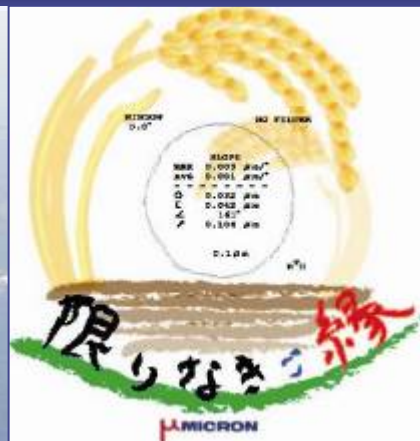
80億円



59億円

47期(平成18年11月期)





社員がデザインした、お土産用地酒のラベル。「限りなきご縁」を大切にします。

●将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

問い合わせ先 管理部

電話 : 023-688-8112

FAX : 023-688-8545

<http://www.micron-grinder.co.jp>